

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

出願人代理人 小池 晃	様
あて名	
〒 100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号 大和生命ビル11階	

PCT  
国際予備審査機関の見解書  
(法第13条)  
[PCT規則66]

発送日  
(日.月.年)

07. 9. 2004

出願人又は代理人  
の書類記号

SK03PCT136

応答期間

上記発送日から 2 月以内

国際出願番号

PCT/JPO3/15884

国際出願日

(日.月.年) 11. 12. 2003

優先日

(日.月.年) 26. 12. 2002

国際特許分類 (IPC)

Int. Cl. H01Q9/14, 9/16, H04B1/40

出願人 (氏名又は名称)

ソニー株式会社

1. ☐ 国際調査機関の作成した見解書は、国際予備審査機関の見解書と ☐ みなされる。  
☐ みなされない。
2. この 1 回目の見解書は、次の内容を含む。
- ☒ 第I欄 見解の基礎
  - ☐ 第II欄 優先権
  - ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
  - ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
  - ☒ 第V欄 法第13条 (PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
  - ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
  - ☐ 第VII欄 国際出願の不備
  - ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見
3. 出願人は、この見解書に回答することが求められる。  
いつ? 上記応答期間を参照すること。この応答期間に間に合わないときは、出願人は、法第13条 (PCT規則66.2(e)) に規定するとおり、その期間の経過前に国際予備審査機関に期間延長を請求することができる。ただし、期間延長が認められるのは合理的な理由があり、かつスケジュールに余裕がある場合に限られることに注意されたい。
- どのように? 法第13条 (PCT規則66.3) の規定に従い、答弁書及び必要な場合には、補正書を提出する。補正書の様式及び言語については、法施行規則第62条 (PCT規則66.8及び66.9) を参照すること。
- なお 補正書を提出する追加の機会については、法施行規則第61条の2 (PCT規則66.4) を参照すること。補正書及び/又は答弁書の審査官による考慮については、PCT規則66.4の2を参照すること。審査官との非公式の連絡については、PCT規則66.6を参照すること。
4. 回答がないときは、国際予備審査報告は、この見解書に基づき作成される。
5. 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第2章) 作成の最終期限は、  
PCT規則69.2の規定により 26. 04. 2005 である。

名称及びあて先

日本国特許庁 (IPEA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉村 伊佐雄

5 T

4 2 3 5

電話番号 03-3581-1101 内線 6819

## 第 I 欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

☐ この見解書は、\_\_\_\_\_語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この見解書は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に应答するために提出された差替え用紙は、この見解書において「出願時」とする。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この見解書は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

## 第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第13条(PCT規則66.2(a)(ii))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-6	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-6	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-6	有
	請求の範囲		無

## 2. 文献及び説明

文献1: JP 2001-148609 A (小島プレス工業株式会社) 2001.05.29, 全文, 全図 (ファミリーなし)

文献2: JP 2002-261533 A (ソニー株式会社) 2002.09.13, 全文, 全図 & WO 02/071542 A1

文献3: JP 2002-232319 A (富士通株式会社) 2002.08.16, 全文, 全図 (ファミリーなし)

文献4: JP 2002-33676 A (ソニー株式会社) 2002.01.31, 全文, 全図 (ファミリーなし) & EP 1176709 A2 & US 2002/21685 A

請求の範囲1、2に記載された発明は、国際調査報告で提示した文献1、2により進歩性を有しない。

例えば文献1に記載されるように、スイッチによりアンテナエレメントの接続状態を切り換えることにより、複数の共振周波数を有する無線通信用アンテナは周知である。

また、文献2に記載されるように、アンテナエレメントを基板上に形成することや、スイッチ素子としてのMEMSは周知であり、文献1において、文献2に記載される周知技術を適用し、アンテナエレメントを基板上に形成したり、スイッチ素子を、周知のMEMSとすることは、当業者が適宜なし得ることである。

請求の範囲3、4、6に記載された発明は、国際調査報告で提示した文献1-4により進歩性を有しない。

文献3、4に記載されるように、互いに通信帯域の異なる二つの無線通信部を有し、これを選択可能とすると共に、アンテナの共振周波数を選択可能とすることは、周知であり、文献3、4に記載されるような、周知の無線通信機器において、例えば文献1に記載されるような、周知の、スイッチで共振周波数を切り換え可能とするアンテナを用いることは、当業者が適宜なし得ることである。

また、二つ設けられる無線通信部のうちどちらを選択するかを予め設定可能とすることは、当業者が必要に応じて適宜なし得ることと認められる。

## 補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

## 第 V 欄の続き

請求の範囲 5 に記載された発明は、国際調査報告で提示した文献 1、2、4 により進歩性を有しない。

文献 4 の【0053】には、無線機器が自ら通信チャンネルを設定するための手段として、最も受信品質のよいチャンネルを選択するため、二つのチャンネルの周波数に順次切り換え、復調後のデータのビット誤り率などから、最も妨害の小さいチャンネルを選択することが記載されており、また、一般に、アンテナのダイバーシチ等複数のアンテナのうち一つを選択する機構において、受信レベルの最も高いアンテナを選択することは慣用された技術であるから、文献 4 において、受信レベルの最も高いチャンネルを選択することは、当業者が適宜なし得たことと認められる。

手 続 正 世	
特許庁長官 (特許庁審査官)	発 願
1 国際出願の表示	
2 出願人 (代表者) 氏名 (名称) あて名 国籍 住所	
3 代理人 氏名 あて名	
4 補正命令の日付	
5 補正の対象	
6 補正の内容	
7 振付書類の日付	